



MTBは今後力を入れたいジャンル

オフロードバイクを深く知ることができ、S B A A P L U S のイベントには特に参加したいという。絶景で全国的に有名なニセコスキー場に壮大なコースがオープン等、北海道ならではのオフロードフィールドが拡大していることがその理由。今後盛り上がりつついく流れがある中で、特に力を入れたいジャンルなのだ。それはおそらく同店だけではなく、周辺の店舗も同様であるはずだ。その知識とノウハウを得るために自転車協会にはぜひ、北海道でオフロードバイクサミットを開催してほしいと望んでいる。



スポーツ車での主力はエントリーモデル

自転車ビジネスが比較的難しいとされる北の地、北海道札幌市で「サイクル小野サッポロ」が100年近く地域のサイクリストたちに愛され続けてきたのには理由がある。地域サイクリストからの「確かな信頼」である。S B A A P L U S を重要視するのも、その1つの証。弊誌は3年前にも同店取材しており、その際に「安全・安心に向けた日頃の取り組みが適切なかどうか、S B A A P L U S が導いてくれる」と語っていた。今回は昨年認定を受けた若いスタッフ、石川陸貢さんに話を聞いた。

備士を目指し同店に入社。整備士免許を取得し、その先のステップアップとしてS B A A P L U S 取得に目を向けた。「お客さんや取引先のメーカーさんと接するルーティンだけでは決して得ることのできない、歴史も含めた深い知識を講習等で得ることができ、今後も整備技術が向上するだけでなく、そこに付加価値もついてくると思う」というのがS B A A P L U S への評価だ。確かに若い経験が少ないということ、顧客から信頼を得ることがすぐには難しいのは、どの業界にも共通すること。だがS B A A P L U S で得た技術、知識、アイデアは経験に匹敵、いやそれ以上の強みとなる可能性を持つ。

今後はオフロードバイクの普及にも期待

石川さんに将来の目標について尋ねると「サイクル小野サッポロをもっと盛り上げて、さらに地域の自転車文化を発展させること。他のショップにはない独自のサービスで、店舗の価値を向上させたい」と答えてくれた。だが具体的にそれが何なのか、石川さんにはまだ見えていない。いつの日か生まれるアイデアをS B A A P L U S が導いてくれることに、期待したいと語る。

日々の業務が忙しくまだ叶っていないが、オフロードバイクサミット等の騰、翌年は遅延していた商品が一気に入ってきて逆に在庫過多という余波が続いた。3年目の今年も厳しい状況は続いており、そろそろ挽回に向けた一手を打たなければならぬ。「スポーツバイクに関してはエントリー層が顧客の中心で、プリヂストンのX B 1 やアンカーのR L 1 等が今の売れ筋。今後はそんな、私服でも乗れるカジュアルスポーツのジャンルのラインナップを工夫して幅広いブランドの幅広いモデルを揃えて、選択肢を増やしたい」というのが、石川さんの近々のプランだ。

▽住所…北海道札幌市中央区北2条西24丁目1-1
 ▼TEL…011-621-0501
 ▼営業時間…11:00～19:00
 ▼定休日…毎週火曜日(3月～5月) 毎週火・水曜日(6月～2月)
 ▼同店の理念は「自転車は、使い捨てのものではなく、生活の中で特別な楽しい乗り物」という事を知ってもらうこと。総合的にラインナップする中でロード、クロス、MTB等スポーツバイクはブリヂストン、アンカー、コーダーブルーム、ミヤタ他、海外ブランドも多数取り扱う。試乗会、サイクリングイベントも定期的に開催し、地域住民にとって身近な存在の自転車店。

一般社団法人 **自転車協会**

S B A A P L U S で培った知識 店舗も地域ももっと

(一社)自転車協会が展開するスポーツバイクを取り扱うスタッフの認定資格「S B A A P L U S」。全国922名のS B A A P L U S 認定者は果たして、そこにどんな価値を見出し、ユーザーの安全・安心にどう役立っているのか。今回は北海道札幌市にある「サイクル小野サッポロ」のスタッフ、石川陸貢さんに話を伺った。

とアイデアで、盛り上げていきたい



S B A A P L U S 認定証



昭和7年創業の老舗自転車販売店「サイクル小野サッポロ」



スタッフ唯一のS B A A P L U S 認定者、石川陸貢さん